



COMMUNICATION AND COLLABORATION



監査法人日本橋事務所

“

COMMUNICATION AND COLLABORATION

”

日常的な「対話と連携」が、
若き公認会計士を最短距離でプロフェッションへと導く。

監査業務の品質を最優先として最善の助言を行い、
クライアントの要求水準を超えるほどのサービスを提供する。
そのために「対話と連携」を行動指針として掲げ、すべての所員に浸透させています。
若き公認会計士をいち早く会計プロフェッションに育てられる環境を作ることは、
少数精鋭の組織・チーム体制により業務を推進できる当法人だからこそ可能であり、
当法人の伝統として1969年の設立時から事務所に深く根付いています。



— MESSAGE —

人としてあるべき姿勢を崩すことなく、
職業的専門家としてしっかり仕事に取り組むこと。
この気持ちを常に持ちながら、
資本市場の活性化の為に共に頑張りましょう。

公認会計士の使命とは、企業の公正な事業活動や投資者・債権者の保護などを図り、国民経済の健全な発展に貢献することです。監査人として保証業務に携わる我々は、利害が相反する両者間のトラブルを防ぐ、資本主義社会における調整役であると考えています。

情報を収集する上で、我々が監査現場で接するのは人間です。だからこそ信頼関係の構築に努めることが大事であり、公認会計士にはしっかりしたコミュニケーション力や人間力を持ってほしいと願っています。当法人は所員100人未満の規模ですが、組織やチームの規模が比較的小さいことは、監査経験の少ない所員に大きな成長をもたらし得る環境でもあると言えます。入所1年目から幅広い業務を担当でき、クライアントや協働する同僚と緊密に対話と連携を重ねられるため、会計プロフェッションとしての自覚と知見をいち早く得ることができます。組織の歯車となり、単純作業だけで毎日が過ぎていくようなことはないと約束します。

こうした環境は、変わりゆく時代の中でキャリアを築く後ろ盾になるはずで、自ら新しい物事を積極的に取り込み、変化に応じて学び続けたい。そうした意欲が強く、チャレンジ精神旺盛な方と、長く一緒に働けることを楽しみにしています。

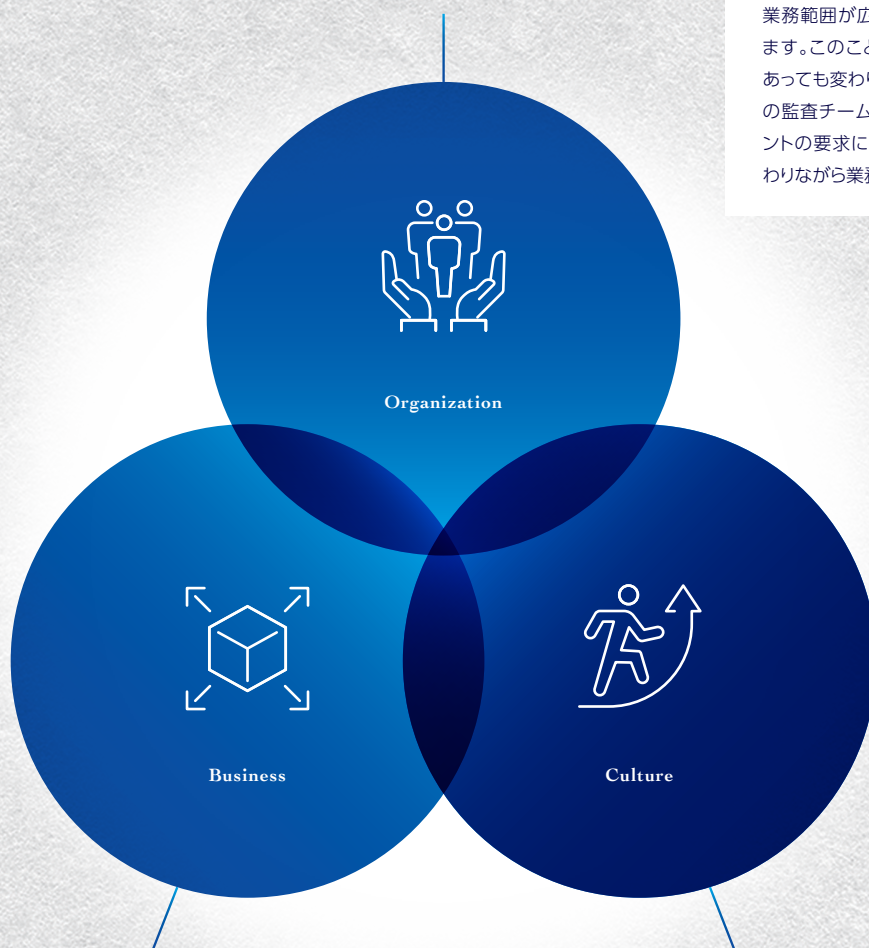
監査法人日本橋事務所 統括代表社員 **小倉 明**

会計プロフェッションとして、一日も早く活躍したい。 その想いに応える監査法人です。

成長できることは当然として、そのスピードを速める業務環境が整う監査法人日本橋事務所。
監査経験の少ない公認会計士の成長意欲に応える、3つの特長を有しています。

若手が業務経験を積める 法人規模・組織体制

監査法人日本橋事務所は中規模の監査法人であり、所員も100人未満です。当監査法人では、一人ひとりの公認会計士が担える業務範囲が広く、関与の度合いも深くなります。このことは、監査経験の浅い若手であっても変わりません。少数精鋭による数名の監査チームのメンバーとなってクライアントの要求に応え、監査プロセス全体に関わりながら業務経験を積むことができます。



様々な監査業務を横断できる 幅広い業務領域

監査法人日本橋事務所のサービスラインは多岐にわたります。製造業を中心とした上場・中堅・中小企業の監査業務をはじめ、M&Aや株式公開を目指す会社に対するアドバイザー業務、財団法人・学校法人などを対象とするパブリック業務など様々です。さらに、業務ごとに部門を分けた縦割りの組織ではないため、複数の業務を横断的に担当することも可能です。幅広く経験できるため、入所後に関心のある業務を見出し、特定の専門性を磨くなど、柔軟にキャリアを構築することができます。

一人ひとりの成長を生み出す 職場環境・企業文化

監査法人日本橋事務所の魅力を所員に尋ねると、返答に必ず含まれているのが、「風通しの良い職場」や「アットホームな雰囲気」という特長です。その源泉になっているのが、比較的小さい法人規模・組織体制であり、日常的に行われる「対話と連携」です。相手の年次や職階に関わらず、自身の意見を気兼ねなく話せる。疑問や相談事を一人で抱え込まず、周囲と一緒に解決していく。こうした環境や関係性が、企業文化として職場に根づいています。誰もが若手の成長に関心をもち、助言やバックアップに余念がありません。

STAFF VOICES

アシスタントとして働きながら目指す資格取得

公認会計士試験の勉強時間を確保しながら 実務経験を積むことができます。

入所後は、補助業務に携わりながら公認会計士試験の勉強をしたいと考えていました。そこで就職先を探す際に重視したのが、未経験者でも実務経験を積めることに加え、勉強時間を確保しやすい労働時間の長さでした。7時間を超えないように配慮されていることや、風通しの良い雰囲気になって入所を決めました。現在はアシスタント職として、2社の監査業務に関与しています。上司や先輩との距離が近く、すぐに質問できる環境にとても満足しています。また、勉強した箇所の理解も深まり、得た知識を業務に活かせるので、高いモチベーションを維持できます。当監査法人では「アシスタント教育制度」の一環として、7時から21時まで会議室を自習室として利用できます。直近の目標は公認会計士試験に合格し、一日でも早くクライアントやチーム内で頼りにされる存在になることです。

2023年3月入所 T.Yさん



上場企業の主査としてチームメンバーを牽引

早くから重要な業務に携わり、 成長を加速させられることが魅力です。

就職活動を始める際は、公認会計士としての経験や将来を見据え、上場企業の監査に携わりたいと考えていました。大手監査法人を経て、若いうちから幅広い業務の経験を積みたいと考え、あえて中規模の監査法人に注目しました。当監査法人を選んだ決め手は、上場するクライアント数の多さです。また、事務所全体にアットホームな雰囲気があり、ワーク・ライフ・バランスを重視して働けると先に入所している先輩や友人から背中を押されました。入所後の印象とのギャップは全くなかったです。早い段階から重要な勘定科目に携われることや、周囲とコミュニケーションをとりやすいことは、当監査法人で働く魅力だと思います。現在は上場企業の監査で主査を務めていますが、事務所内の公認会計士のなかではまだ若手です。さらに先輩方から知見や経験を吸収し、チームメンバーにも還元することが今後の目標です。

2021年3月入所 A.Kさん



監査責任者としてクライアントの事業再編にも貢献

影響力のある役割を果たし、 変革を主導できるチャンスがあります。

以前は大手監査法人に在籍していました。転職を決めた理由は、ワーク・ライフ・バランスを重視した働き方ができること。中規模の監査法人でありながら大手企業のクライアントも多く、前職と同様の監査業務に取り組めること。そして、設立から一度も行政処分を受けず、高い監査品質を保持していることに安心感を覚えたからです。入所した時の判断に間違いはなく、良い転職をしたと思っています。私は現在、変革期にある製造業を複数社担当しています。監査責任者を務めているため、事業再編等の意思決定に係る会計処理の相談もあり、影響力と責任の大きさにやりがいを感じています。常に変革を求められるのは、監査業界も同じです。より柔軟な思考をもつ組織に進化していくために、若手からの改善案も積極的に取り入れ、実現していきたいと考えています。

2021年10月入所 A.Tさん



キャリアの選択肢を広げ、自分のペースで働くために。

全ての所員が活躍し、望むキャリアを実現するための支援や制度を充実させています。

キャリア支援

働きながら公認会計士試験合格を目指せる「アシスタント教育制度」を導入

補助業務に携わるアシスタント（正規所員）に、試験対策に取り組むための自習空間や時間を提供する制度です。仕事と学習を高い次元で両立し、公認会計士の資格取得を成し遂げてください。

大会議室の自習利用

開放時間帯7時～21時

学習時間の提供

閑散期（7月～11月）に月3日（計15日）の学習日を付与
短答式試験前（12月）に平日10日間の学習日を付与
論文式試験前（7月上旬～試験前日）に学習日を付与

入所後のキャリアプラン

アシスタント 無資格

● アシスタント（入所初期）

入所後はアシスタントとして基礎から学んでいただきます。業務の流れを理解し、実務経験を積むことで、監査の全体像を把握することができます。業務に必要なスキルや知識を着実に身につけ、チームの一員としてしっかりと役立つ存在になることが目標です。

*公認会計士試験に合格後ジュニアアカウントにステップアップ

● シニアアシスタント（入所から2～3年程度）

アシスタントとしての経験を積んだ後、より高度な業務に挑戦し、チームメンバーの主力としての役割を担うことになります。小規模クライアントのインチャージ（主査）を担っていただくケースもあります。クライアントとのコミュニケーション能力やプロジェクトの管理スキルも求められますが、業務における幅広い経験と責任感が身につきます。

*公認会計士試験に合格後ジュニアアカウントにステップアップ

公認会計士試験合格者

● ジュニアアカウント

公認会計士試験合格者の方は、まずジュニアアカウントとしてスタートします。実務経験を通じて、監査業務に深く関与し、クライアント対応や業務プロセスの理解を深めていただきます。日本公認会計士協会の実施する修了審査に合格し、公認会計士登録が完了するとシニアアカウントへと昇進します。

公認会計士

● シニアアカウント

業務の幅が広がり、より複雑なプロジェクトを担当することになります。ここで求められるのは、職業的専門家としての高度な専門知識とリーダーシップ能力、コミュニケーション能力です。大規模上場クライアントのインチャージを担っていただくこともあります。意欲と能力次第で、マネージャーへの昇進のチャンスがあります。プロジェクトの管理やチームの指導においても、その能力を発揮していただけます。

● マネージャー・シニアマネージャー

クライアントとの関係構築やチームのマネジメントを行い、監査法人の成長にも貢献していただけます。ここでの意欲や能力次第で、パートナーへの昇格も視野に入ります。当法人では、既に蓄積した経験が評価され、入所後わずか一年でパートナーに昇格したメンバーもあり、実力次第で急成長が可能です。

● パートナー

パートナーとは、監査法人の共同経営者です。監査業務責任者として監査報告書へサインすることで財務諸表監査等の意見表明責任を負います。また、既存クライアントとの信頼関係の構築、新規クライアントの獲得の推進、事務所の品質管理の向上、事務所の業務を運営する能力などが求められます。

国際的な業務の質を高めるネットワーク

監査法人日本橋事務所は、世界第8位の規模を誇る英国に本部を置く国際的会計事務所ネットワーク『Baker Tilly International』に加盟する独立したメンバーファームです。グローバルに事業を展開するクライアントに対しては、国際財務報告基準 (IFRS) に準拠した連結財務諸表に対するグループ監査等を行う際、アジア25ヶ国を含む世界141ヶ国のメンバーファームと連携。各国のリソース等を最大限に活用し、高品質の国際的業務サービスを提供しています。こうした体制が敷かれていることは、海外を視野に入れて活躍できる公認会計士を目指し、知見や経験を得る上でメリットといえます。



DX化等による監査業務の効率化を推進

電子化された監査調書等を管理するため、クラウド型ITプラットフォームサービス『AuDics (オーディックス)』を導入。ITリソース・データの遠隔管理が可能となり、クライアント先、事務所、自宅等、働く場所に制約を受けない業務遂行環境を構築しています。また、CAATs (コンピュータを活用した監査手続の技法) を用いたツール等を導入し、膨大な時間を要するデータ処理や分析の自動化を進めるなど、公認会計士がクライアントとの対峙やアドバイザー等に労力をシフトできる環境整備に注力しています。さらに、AIを活用した業務効率化についても随時検討を進めているところです。



柔軟な働き方や多様なライフプランを支援

リモートワーク可	誕生日休暇
カジュアル服での勤務可 (事務所執務日に限る)	育児休暇
準フレックスタイム制 (8～10時出勤/16～18時退勤)	看護休暇 (未就学児一人につき年間5日間取得可能/有給)
修了考査試験前休暇	介護休暇
監査チーム打ち上げ補助 (一人当たり5,000円支給)	夏季休暇 (7～9月の間に計5日間取得可能)
公認会計士以外の資格取得補助 (CISA等)	年末年始休暇



法人名称	監査法人日本橋事務所
統括代表社員	小倉 明
所在地	東京都中央区京橋1丁目10番7号 KPP八重洲ビル4階
TEL	03-3274-5041 (代表)
URL	https://www.nihombashi.or.jp
沿革	1952年 創業 1969年 監査法人へ改組 2014年 Baker Tilly Internationalに加盟
人員	パートナー 16人 公認会計士 29人 公認会計士試験合格者 7人 監査補助職員 18人 その他事務職員等 6人 合計(2024年10月1日現在) 76名